

30 畜産・酪農の生産力強化 [新規]

【258（一）百万円】

（平成26年度補正予算 1,976百万円）

対策のポイント

酪農経営における受精卵移植・性判別技術を活用した優良な乳用後継雌牛の確保及び和牛主体の肉用子牛の生産拡大、和牛繁殖経営におけるICT等の新技術を活用した繁殖性の向上等の取組により、畜産・酪農の生産力強化を図ります。

<背景／課題>

- ・ 大家畜経営の生産基盤の縮小が懸念される中、
 - (1) 酪農経営においては、交雑種子牛の生産が増加する一方で、乳用後継雌牛が減少
 - (2) 和牛繁殖経営においても、繁殖成績の低下等により、和子牛の生産が減少しています。
- ・ このため、優良な乳用後継雌牛の確保と和牛主体の肉用子牛の生産拡大等を通じて畜産・酪農の生産力を強化していくことが必要です。

政策目標

- 優良な乳用後継雌牛の確保を通じた生乳の安定供給
- 和牛の生産拡大による国産牛肉の安定供給

<主な内容>

1. 畜産・酪農生産力強化緊急対策事業

(1) 酪農経営改善緊急対策 (平成26年度補正予算 1,780百万円)

酪農経営における優良な乳用後継雌牛の確保及び和牛主体の肉用子牛の生産拡大を図るため、畜産クラスター計画に基づく以下の取組を支援します。

- ① 和牛受精卵を活用した和子牛生産の拡大、性判別受精卵・精液を活用した優良な乳用種後継雌牛の確保等の経営改善に向けた計画的な取組
- ② 和牛受精卵等の生産拠点の機器整備
- ③ 性判別精液生産機器の導入
- ④ 受精卵移植技術の高位平準化のための実技研修会等の開催

(2) 肉用牛繁殖性向上緊急対策 (平成26年度補正予算 196百万円)

畜産クラスター計画に基づき、和牛繁殖経営におけるICT等の新技術を活用した繁殖性の向上等を図る取組を支援します。

（補助率：定額、1/2以内）
（事業実施主体：民間団体、生産者集団）

2. 和牛の生産拡大を支える研究開発（委託プロジェクト研究）[新規]

258（一）百万円

受精能力が高い精子の判別技術の改良を通じた性判別精液による受胎率の向上や、雌牛の栄養状態の制御による分娩間隔の短縮等のための技術開発を推進します。

（生産現場強化のための研究開発のうち受胎率向上のための研究開発
委託費

委託先：民間団体等）

お問い合わせ先：

1の事業 生産局畜産振興課 (03-6744-2587)

2の事業 技術会議事務局研究統括官（食料戦略、除染）

(03-3502-2549)

畜産・酪農の生産力強化〔新規〕

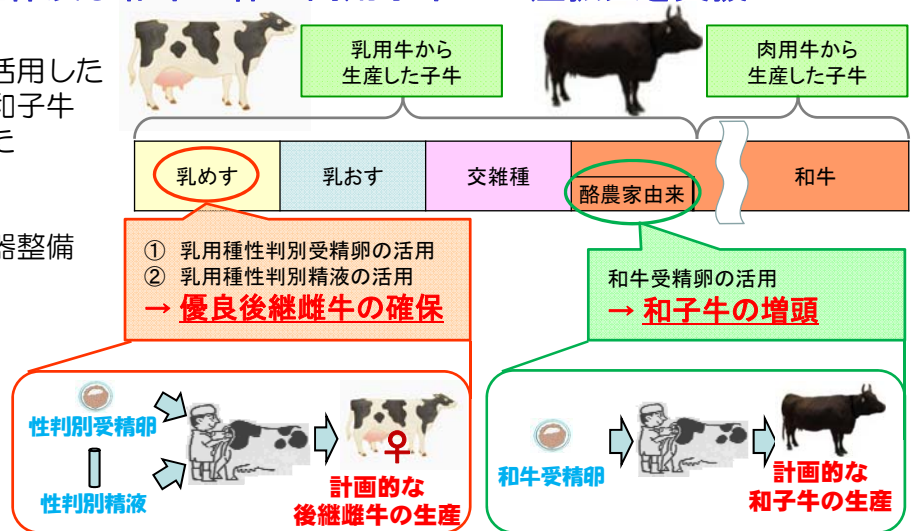
1. 畜産・酪農生産力強化緊急対策事業(平成26年度補正予算)

酪農経営の収入増や肉用子牛の供給拡大による肥育経営のコスト削減による経営改善を推進

- 酪農経営においては、交雑種の生産が増加する一方で、乳用後継雌牛が減少しており、和牛繁殖経営においても、繁殖成績の低下等により和子牛の生産が減少。
- このため、受精卵移植・性判別技術等を活用し、優良な乳用後継雌牛の効率的な確保及び和子牛の生産拡大等を図る取組を推進。

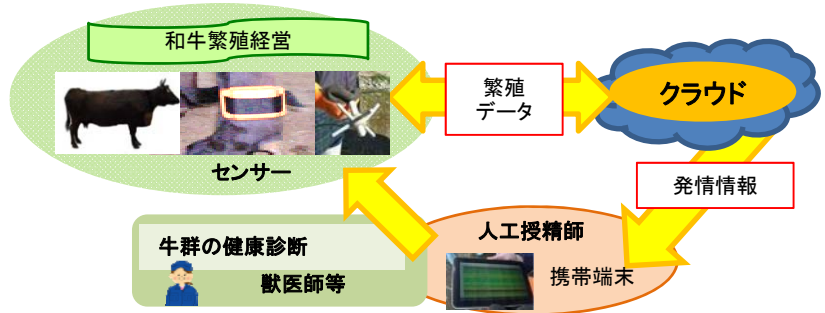
■ 優良な乳用後継雌牛の確保及び和牛主体の肉用子牛の生産拡大を支援

- 受精卵移植・性判別技術等を活用した優良な乳用種後継雌牛の確保、和子牛生産の拡大等の経営改善に向けた計画的な取組
- 和牛受精卵等の生産拠点の機器整備
- 性判別精液生産機器等の導入
- 受精卵移植技術の高位平準化のための実技研修会等の開催



■ ICT等を活用した繁殖性の向上等を図るための取組を支援

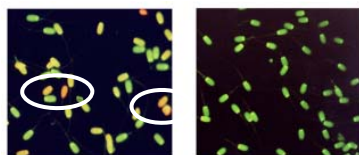
- 繁殖雌牛の歩数や体温等から人工授精の適期等を判断するための機器の導入
- 人工授精に関する情報等をクラウド上に蓄積し、飼養管理の改善・指導に活用



2. 和牛の生産拡大を支える研究開発〔新規〕(平成27年度予算概算決定)

- 和子牛の生産拡大や乳用後継雌牛の確保のため、性判別精液の利用技術の更なる高度化や受胎率向上のための研究開発を推進

- ・ 受精能力が高い精子の判別技術の改良を通じた性判別精液による受胎率の向上
- ・ 雌牛の栄養状態の制御による分娩間隔の短縮 等



低受精能精液 → オレンジ色に着色
正常精液 → 緑色に着色



【目標】

- ・ 牛の分娩間隔を20日以上短縮する技術を開発
- ・ 生産性向上により、年間300億円規模の生産コスト削減